



老朽化により、今後の在り方について検討を進めておりました播磨町民プールにつきましては、検討委員会により策定された新たな整備を計画しておりますが、本年度は跡地利用の基本設計と実施設計にとりかかり、子どもから高



▲秋ヶ池運動場で練習する未来のアスリート



▲大中遺跡まつり古代パレードの親子

以前から課題となっておりました新島企業等への情報提供手段として、播磨大橋に監視カメラを設置し、インターネット中継による道路情報を提供してまいります。「播磨町地域防災計画」の見直しにより、増加が見込まれる備蓄必要数に対応するため、新たに北池広場に備蓄倉庫を設置します。災害時の自助・共助を速やかに機能させるため、自主防災組織の連携強化と

平成26年度施政方針 まち、地域、子ども みんなで育むまちづくり

▼問合せ 企画グループ ☎079(435)0356

3月4日の播磨町議会定例会で、清水町長より平成26年度施政方針が発表されました。その所信について掲載します。第4次総合計画に掲げた「まちづくりの基本目標」の5つの柱に沿って、本年度の主要な事業を説明します。

はじめに



我が国の経済情勢は、政府の経済成長戦略により、輸出や設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気回復の兆しが見え始めてきたところでありますが、4月からは消費税増税が実施されることでもあり、その成果を見極めるには、もう少し時間を要するのではと思っております。しかしながら、今後、経済情勢の好転が雇用や個人消費に反映し、地方にも波及していくことを大いに期待するものでございます。

平成26年度予算について、まず、歳入ですが、歳入の根幹となります町税で前年度より2%増の51億9千万円を見込んでいるものの、横ばい傾向が続いており、歳入の確保については、

厳しい状況が続くものと予測されます。

一方、歳出においては、少子・高齢化対策をはじめとした社会保障関係費は年々増加しており、生活環境の整備、安全・安心なまちづくりへの対応など、経常的な経費の増加に加え、老朽化した公共施設等の維持補修や大規模な改修工事の実施などによる多額の経費を必要とする事業が多くあります。

このような状況の中で、平成26年度の予算編成にあたっては、「第4次播磨町総合計画」をはじめ、「第4次播磨町行政改革大綱」及びこれに基づく具体的取組を示した「行政改革実施計画」を推進し、「事業評価書」による検討、見直しを通じて、制度・施策の優先順位の選択を行いました。また、真に必要な事業には重点

的・積極的に取り組む予算を編成してまいりました。

まず、第4次播磨町総合計画の5本の柱に沿って所信を述べさせていただきます。

豊かな心と人を育む まちづくりを進めて まいります



全国的に少子高齢化が進む中で、本町においては幼稚園児・小学生等が増加する傾向にあり、早急にハード、ソフト両面においての対応が必要となっており、平成26年度の幼稚園入園希望者は昨年より30名ほど増加し、各園において既存施設のやりくりと職員数の増により4クラス増設という形で、全員受け入れてまいります。こ



▲希望いっぱいの一体験入園



▲今年のキーワードは「育む」

やすらぎがあり、健やかに 暮らせるまちづくりを 進めてまいります



4月から消費税が5%から8%へと引き上げられますが、「臨時福祉給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」を支給し、低所得者や子育て家庭への影響緩和を図るとともに、引き続き各種助成制度等を実施し支援を進めてまいります。また、平成25年度に実施したニーズ調査に基づき、町内の子育て事情に配慮した「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、播磨町の子育て家庭をきめ細かくサポートしてまいります。

学童保育については、平成24年度より公設化を実施しておりますが、宅地化の進展・保護者の労働形態の変化等によるニーズの高まりに対応するため、今後のサービス提供の在り方を検討してまいります。

安全・安心のまちづくりをさらに進めてまいります。平常時からの対策として新たに自治会が設置される防犯カメラや、自治会管理の街灯LED化に対しても補助を行ってまいります。町設置の街灯では、本年度は町道大中二見線や土山新島線などでLED化を実施します。また、災害時への対応として、「フェニックス防災システム」の増設や衛星携帯電話を導入することで、災害対策本部の機能を充実させてまいります。



▲平成26年度末に供用開始予定の町道浜幹線 (南中学校付近)

まちの東西を貫く町道浜幹線につきましては、周辺地権者の方々のご理解とご協力のもと、全線開通に向けて順調に進捗しておりますが、本年度末の供用開始に向けて、道路工事とあわせて関連する整備を進めてまいります。

播磨町駅南広場につきましては、夏までに完成予定の駅自由通路南北のエレベーターとともに、「播磨町バリアフリー基本構想」に基づき整備を行ってまいります。

上水道事業につきましては、安全で安心して飲める水道水の供給を安定して行えるよう、施設、管路等の適正な維持に努めてまいります。公共下水道につ

全国で相次ぐ住民票の不正請求に対応するため、本年度より「本人通知制度」を実施し、個人情報保護と人権侵害の防止を図ってまいります。地域や団体、学校園などにおいて、さらなる人権意識の高揚を図るため、播磨協が行う人権学習やいきいきフォーラムなどの活動を支援してまいります。

行政懇談会やタウンミーティング、わくわく講座、町広報紙、ホームページなどを活用し、対話と情報の共有に努め、住民との「協働」によるまちづくりを進めてまいります。国際交流協会主催の事業や、NPO主催のサマーフェスティバルなど、各種イベントや様々な機会を通じて、まちづくりや地域づくりへの一体感や「ふるさと意識」の醸成に努めてまいります。

これまで上下水道料金の徴収において実施しておりましたコンビニ収納を、納税者の利便性を図るため、町税においても平成27年度からの実施に向けてシステム導入を行ってまいります。

平成26年4月から実施されました「再任用制度」に基づき雇用する職員の行政知識と経験を活用しながら、職員の適正配置と採用計画について検討してまいります。第2庁舎については、建設後16年経過し、経年劣化が進んでいることから、本年度は改修のための設計業務を行います。

ごみ処理広域化については、2市2町で平成34年度の開始をめざして進めてまいります。今回、ごみ処理方式については決定いたしました。想定さ



▲つながりを大切にするまちづくりを進めます

※「平成26年度施政方針」全文は、町ホームページに掲載しています。



町政運営にあたっては、将来にわたって良好な財政状況を維持し、ニーズにあったきめ細やかな住民サービスが提供できるよう、健全で確実な運営に努めてまいります。

様々な課題、問題の解決に向けて2市2町で協議を進め、将来を見据え安定したごみ処理運営の広域化をめざしてまいります。

健全な行政経営による持続可能なまちづくりを進めてまいります

水田川については、毎年、国・県に要望を重ね、工事の進捗に努力していただいておりますが、本年度、町は暫定的な対策として水路のバイパス工事を実施し、その効果を確認したいと思っております。あわせて、阿

つながりを大切にするまちづくりを進めてまいります

あわせて「ひょうご防災リーダー講座」の受講費用を助成し、防災リーダー養成を支援してまいります。

本町におきましても、毎高齢化率が上昇してきておりますが、本年度は平成27年度から29年度までの「介護保険事業計画」を策定し、介護保険事業の円滑な運営を図ってまいります。また、新たな試みとして「認知症の簡易チェック」を実施し、受診勧奨や相談支援などを行い、早期発見、早期治療につなげてまいります。地域での見守りや災害時等の支援体制を確立するため、一人暮らしの高齢者や障がい者などに対して生活状況の調査をいたします。すでに策定している「障害者計画」に基づき、平成27年度から29年度までの「後期障害福祉計画」を策定いたします。

空びん回収用のプラスチック製のドラム缶については、昨年からの希望される自治会に提供しておりますが、未設置のところもあることから、さらなるPRに努めてまいります。

土山駅南町有地につきましては、平成26年度早期に土壤改良を終え、並行して進めております事業者募集の選定結果に基づき、基本協定を締結、駅周辺のにぎわい並びに駅利用者の利便性を増したいと考えております。

人や環境にやさしく、快適なまちづくりを進めてまいります

喜瀬川につきましては、五反田側の遊歩道を整備し、通行の安全と快適性を確保いたします。



▲喜瀬川五反田付近の遊歩道を整備します



▲水田橋と阿閑橋の間、西側に遊歩道を整備

町政運営にあたっては、将来にわたって良好な財政状況を維持し、ニーズにあったきめ細やかな住民サービスが提供できるよう、健全で確実な運営に努めてまいります。

行政懇談会やタウンミーティングなどでも、再三切実な要望をお聞きしております。交通弱者の「足の確保」については、再度住民アンケートを実施し、その結果を踏まえて、「播磨町地域公共交通会議」で今後のあり方について検討してまいります。